

3分でわかる

BoostDraft



法的文書作成において、こんな課題はありませんか？

無駄で苦痛な文書作業で 生産性が低下

- 参照や定義、引用法令の確認で無駄な時間がかかる。
- 変更履歴の調整、フォント・インデント・表記ゆれといった誤記の調整など文書の内容以外の確認・調整に時間がとられている。

AI契約書レビュー製品で 成果が出ていない

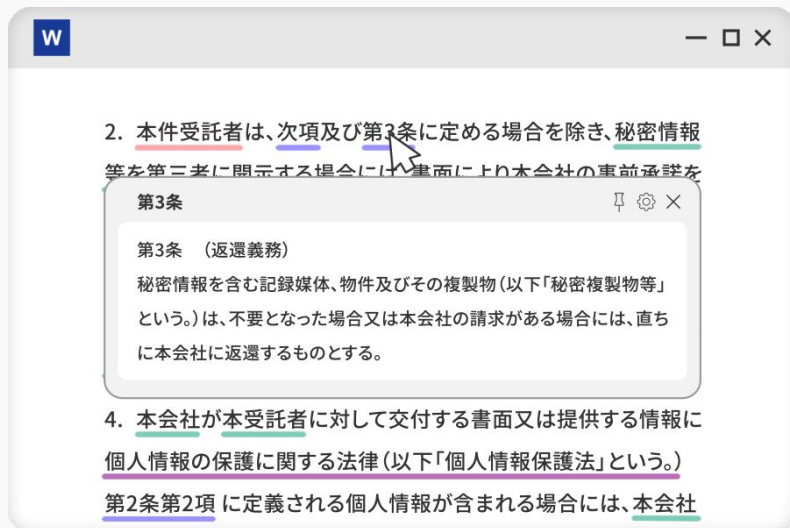
- AIが契約内容をレビューしても指摘が一般論の領域を出ず、担当者の確認作業が発生している。
- 費用が高額であるのに効率化できているか疑問が残る。

機密性の高い法的文書の 情報流出が不安

- 機密情報を扱っているためクラウドサービスに対する不安が払拭できない。
- 自社で抑止できない情報漏えいや毀損リスクを回避したい。

BoostDraft がすべて解決します

BoostDraftは、法的文書作成での見えないムダを排除する 法律専門家向けの総合文書エディタです。



3つのポイント

Windows PC
専用です※

- 無駄で苦痛な作業を自動化
- 圧倒的な費用対効果を実現
- 文書データの外部送信なし

※現在、Mac OSには対応していません

BoostDraft 3つのポイント

無駄で苦痛な 作業を自動化

- 低価値で無駄な「作業」のみを自動化し、法務担当者が文書内容に注力できます。
- Microsoft Word上で動作が完結。標準機能のように利用できるので業務フローを変更する必要はありません。
- 日本語も英語も法的文書全般に対応しています。

圧倒的な 費用対効果を実現

- 必要な端末利用数の従量課金で最短1分、クリックだけですぐに利用できます。
- 初期費用は一切発生しません。
- 比較的安価に法務業務を効率化するため、高い費用対効果を実現。

文書データの 外部送信なし

- クラウドソフトではないためインターネットは使いません。
社外への文書送付がなく、機密データが漏洩する心配はありません。
- 外部サーバへのデータ送信やサーバ内での解析もないため、システム利用時の読み込み時間はかからずシームレスに利用できます。

BoostDraftの主な機能

Wordを立ち上げるだけ。日文・英文にも対応。
法的文書読解における無駄を徹底的に削減する豊富な機能。

編集者名／コメントの
確認・修正

色分けによるアンダー
ライン・ハイライト

条項ずれの指摘・
一括修正

法律文書特有の
各種自動プルーフ

参照・定義語の
ポップアップ

その他詳細は
お問い合わせください

The screenshot displays the BoostDraft software interface with a legal document open. The document text includes:

取扱いについて、次の各号に定める事項を遵守する。

- (1) 秘密情報等を、善良なる管理者としての注意義務をもって嚴重に保管、管理する。
- (2) 秘密情報等は、本取引の目的以外には使用しない。
- (3) 秘密情報等を複製する場合には、本取引の目的の範囲内において、原本と同等の保管、管理をする。
- (4) 漏えい、紛失、盗難、盗用等の事態が発生し、また、本件受託者は、次項及び第3条に定める場合を除き、秘密情報等を第三者に開示する場合には、書面により本会社の事前承諾を得なければならない。

2. 本受託者は、法令に基づき秘密情報等の開示が義務づけられた場合には、事前に本会社に通知し、開示につき可能な限り本会社の指示に従うものとする。

4. 本会社が本受託者に対して交付する書面又は提供する情報に個人情報の保護に関する法律（以下「個人情報保護法」という。）第2条第2項に定義される個人情報が含まれる場合には、本会社は個人情報保護法により必要とされる一切の措置を講じなければならない。

The interface features a top menu bar with options like '編集者名の修正・統合' (Edit/merge editor names), 'コメント一覧・一括削除' (Comment list/delete), '表記揺らぎの修正' (Fix notation variations), 'フルフリード' (Full free), 'インデント一括修正' (Indent bulk correction), 'フルフリード' (Full free), '全文検索' (Full text search), '全参照を一時的にハイライト' (Temporarily highlight all references), 'パスワード' (Password), 'パスワード' (Password), 'マニュアル' (Manual), 'ヘルプ' (Help), '設定' (Settings), '登録' (Registration), '実行中 (日本語)' (Running (Japanese)), and 'その他' (Others). A sidebar on the left includes 'アウトライン関連' (Outline related), '定義語' (Definitions), 'ナビゲーション設定' (Navigation settings), and 'ナビゲーション' (Navigation). A right sidebar contains 'マニュアル' (Manual), 'ヘルプ' (Help), '設定' (Settings), '登録' (Registration), and 'その他' (Others). A '秘密情報等' (Secret information) popup window is visible, containing text about confidentiality and a '新しいウィンドウで開く' (Open in new window) button.

BoostDraftの特徴

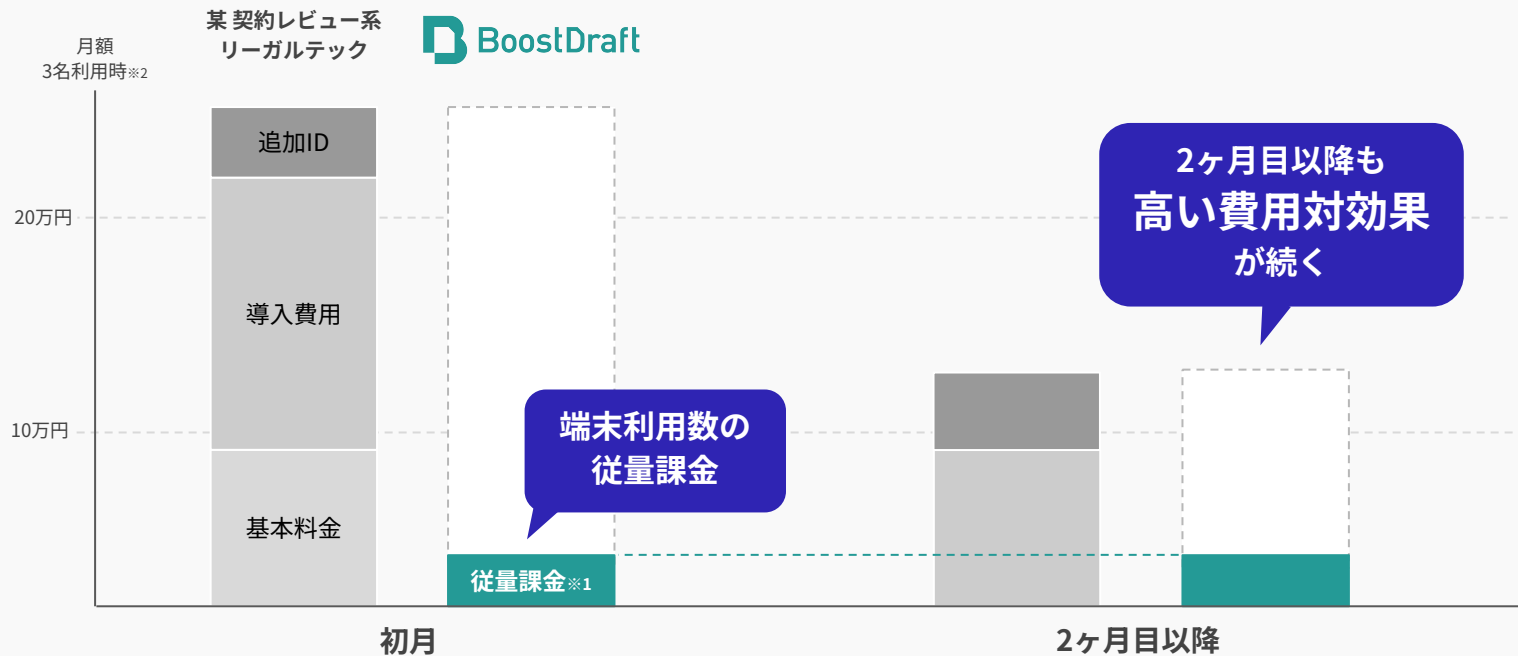
他契約書レビューサービス



実現すること	AIが契約書内容をレビューしリスク判定。
動作環境	SaaSのためブラウザ上で動作。データやページの読み込みに時間がかかる場合も。
データ通信	外部サーバへのデータ送信やサーバ内での解析が必要。
導入負担	業務フローを再構築し使い方等の周知・浸透が必要。
費用	月額費用に初期費用やオプション料金も加わり高額になりやすい。

契約書の“形式面”の作業に特化し自動化。 (内容面のレビューは介入しない)
Word上で標準機能のように シームレスに動作。
インターネット不要で 文書データの外部送信なし。
数クリックでインストールでき 業務フローの変更なくすぐに利用可。
端末数に応じた従量課金で安価。 初期費用は一切なし。

料金イメージ



※1 お見積りはお問い合わせください ※2 企業法務部様向け和文向けソリューション価格（23年4月時点）、公開情報やヒアリング等から当社調べ

BoostDraft 導入事例

企業



法律事務所



導入企業の声



社名 キッコーマン株式会社

業種 食料品

法務規模 中規模

ある程度の法律業務経験があると、AIレビュー系のソフトウェアの提案内容に満足できない事が多く、効率性向上に繋がらないのではないかという懸念がありました。

BoostDraftは細かい作業・確認の時間を削る事に特化しているので、効率性アップに確実に貢献しています。

大手法律事務所の弁護士を始めとした**開発者の法務業務に対する理解度の高さ**にも期待ができ、導入決定にあたって非常に安心感がありました。また、インストール等も非常に簡単で、迷うこと無くすぐ使えるようになりました。

文書データの外部送信も無く、コストもリーズナブルであったため、社内での手続きも大変スムーズでした。



東京海上ホールディングス

社名 東京海上ホールディングス株式会社

業種 保険

法務規模 大規模

英語契約書をレビューする機会が多いのですが、日本語より複雑で読みこなすのに時間がかかり、法務リスクを鑑み、見落とすことができないため時間をかけてレビューしていました。

BoostDraftは**重要な情報を整理して表示してくれるため、契約書の精読に係る時間が削減されるだけでなく読み間違い及び見落としリスクが大きく削減**されました。クラウド系のサービスの導入は情報セキュリティ上導入ハードルが高いのですが、BoostDraftはインターネット接続なしにオンプレミスでも動作するので安心して使用できています。

BoostDraft 会社概要

会社概要

社名	株式会社BoostDraft
CEO／共同創業者	藤井 陽平
CRO／共同創業者	渡邊 弘
東京本社	東京都千代田区平河町1-6-15 USビルディング8F
米国本社	18 Bartol St San Francisco, CA, 94133 United States
設立	2021年4月

役員プロフィール



CEO／共同創業者

藤井 陽平

Yohei Fujii

中学生からプログラミングを始め、Android OS開発・及びSNS構築等、ソフトウェアエンジニアとして様々なプロジェクトに携わる。京都大学情報学研究所を卒業後に、NTT基礎研究所の研究者として暗号技術やセキュリティの高いAIの研究を実施。その後、ベイン・アンド・カンパニーにて、戦略コンサルタントマネージャーとして日米印企業の中期経営・製品戦略策定、業務効率化等プロジェクトを推進。その経験を活かし、マサチューセッツ工科大学にてMBAを取得。ソフトウェアエンジニアと経営コンサルティングの2つのキャリアを活かし、MIT在学中の2021年に株式会社BoostDraftを創業、CEOに就任。現在は米国・サンフランシスコを拠点に活動しながら、プロダクト開発・組織構築・米国展開を推進する。



CRO／共同創業者

渡邊 弘

Hiroshi Watanabe

西村あさひ法律事務所にてM&A／ファイナンス・国際取引を中心に契約業務に従事。その後、スタンフォードロースクール(LLM)のリーガルテック専門機関Codex等で英米リーガルテック調査を行う。2019年よりスタンフォード経営大学院(MBA)にて経営を学ぶ傍ら、The Corporate Legal Operations Consortium(CLOC)のJapan Chapter創業メンバーとなる。法務分野の業務効率化余地を探求すべく各国法務関係者へのインタビューを実施し、アイデアを具現化して2021年に株式会社BoostDraftを創業しCROに就任。

まずはデモをお試しく下さい。



[問い合わせる](#)